

# TAEKOのきまぐれ日記

2012.10.26

## 新しい窓

あこがれの水色のガウンとモーターボード(四角いボードにタッソルがたれさがっている帽子)を着て、他の何千人という卒業生に混じり、ニューヨークのキャンパスでお祝いをしたのが今年の5月。

英語教授法を大学院に学んだことによって、英語を教える経験が今までとは、まったく違うものになった。

英語をよりよい方法で教える、ことを話し合う場(JALT, 全国英語学会)に参加する機会を得た事が、一番の変化だろう。この場で自身の教え方を発表することも大きな刺激だったが、英語教育に関する意表をつく指摘の数々が、他のブースで聞けるのもこの上ない刺激だ。英語教授の新しい方法はつぎつぎと生まれる、そして、よりよい教え方だけが広まり残って行いく。グロービストで英語をまなぶ方々に、より効果的かつ楽しい方法で英語学習体験を重ねていただくための貴重な刺激の宝庫がそこにある。

やっぱり、勇気をだして大学院に学んでよかった、っと、3年半のコースワークおよび卒業論文執筆を終わり、今思う。

今週の日曜日は、コロンビア大の東京キャンパスでの卒業式だ。

もう一度水色のガウンを着る。学びを毎日のレッスンに活かして行こう。

